

冬季への備え

ガス水道局からのお知らせ

問合せ先 ガス水道局 ☎552-1540



水道管の凍結防止

水道管は、気温がマイナス4℃以下になると凍結しやすくなります。凍結すると水が出なくなるばかりでなく、水道管の破裂や、給湯器の故障の恐れがあります。事前の対策を行い、冬に備えましょう。



凍結しやすいところ

- むき出しになっている水道管 (特に風当たりが強い建物の北側にある水道管)
- 給湯器本体や周りの水道管
- 暖房のない屋内の蛇口 (トイレや洗面所など)



凍結を防止するために

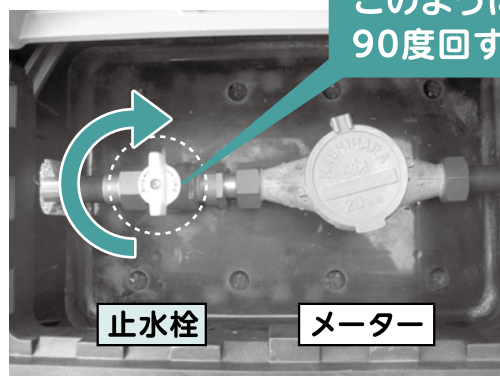
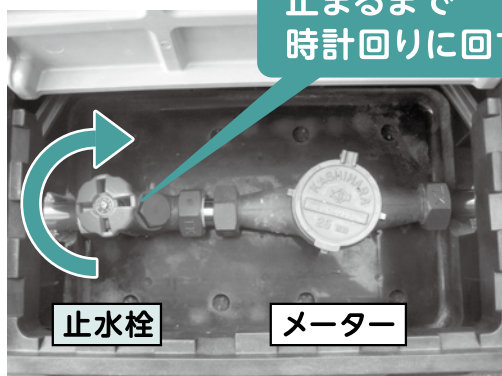
- 保温材 (発泡スチロール製) を取り付ける (凍結防止ヒーターを取り付けるとより効果があります)
- 蛇口から少量水を出しておく。 (⚠ 水の出しすぎには注意)



凍結による破損の被害を防ぐために

- 水道管や給湯器が破裂したとき、すぐに水を止められるよう、事前に止水栓 (水道メーター) の位置を確認しておきましょう。
- 普段、人のいない施設や長期間留守にするお宅は、止水栓を閉めることをお勧めします。
- 給湯器の電源プラグを抜くと、凍結防止機能が作動しないので注意が必要です。

止水栓の閉め方



凍結してしまったら?

- 自然に溶けるのを待つ。
- 蛇口を全開にしてタオル等をあて、上からぬるま湯 (約50℃) をゆっくりかける。
⚠ 熱湯をかけると水道管が破裂する恐れがありますので、絶対にかけないでください。

保温材の取り付けや、水道管の破裂による水漏れについては、市指定の工事業者へお問い合わせください。

市指定工事業者はこちらから ▶

